

各 位

公益財団法人大河内記念会  
理事長 吉川 弘之

第68回(令和3年度)大河内賞受賞候補者推薦のお願い

大河内記念会では、生産工学、生産技術、生産システムの研究開発並びに実施等に関するわが国の業績で、学術の進歩と産業の発展に大きく貢献した個人、グループまたは事業体に対して毎年大河内賞を贈呈して表彰しております。候補業績は各方面からのご推薦に基づき、審査委員会で審査を行います。

つきましては本年度も大河内賞にふさわしい候補業績をご推薦いただきたく、募集をいたします。

推 薦 要 項

1. 応募資格 最近において、第2項に示す顕著な業績をあげた個人又は5名までのグループ<sup>1)</sup>あるいは事業体<sup>2)</sup>。

注1) 個人、グループの所属は、会社、研究所、大学等いずれでも結構です。

2) 事業体とは、会社、工場、事業部その他種々の事業等実施形態を指し、規模の大小は問いません。

3) 受賞は、原則として、同一年度1社につき1業績とする。

2. 賞の種類

区分	賞の種類	賞の内容
個人または5名以内のグループを対象とする賞	大河内記念賞	賞状、副賞(メダル)、賞金(100万円/件)
	大河内記念技術賞	賞状、副賞(メダル)、賞金(30万円/件)
事業体を対象とする賞	大河内記念生産特賞	賞状、副賞(大型賞牌)
	大河内記念生産賞	賞状、副賞(賞牌)

3. 推薦者 事業体、個人、また、自薦、他薦を問いません。

4. 推薦書等(所定の様式に従ってください)

(1) 概要 業績の概要は、①研究開発の背景と目標、②経過、③内容と特徴(業績の独創性及び先行性、学問的優秀性、競合技術に対する優位性、経済的貢献度、社会的貢献度、技術内容の公開度、克服した課題及び将来性等)及び④成果(生産・販売の実績・金額、輸出を含む市場占有率の推移)の4項目につき要点を簡潔に記述してください。

(2) 付属説明書 ①上記①～④について、項目毎の詳細内容を付属説明書として作成し、添付してください。また複数の事業体に関与している場合は、付属説明書において、「分担」の項目をたて、分担範囲について記述してください。推薦書(所定の様式があります)と付属説明書(A4版とします)は、パソコン、ワープロ等により明朝体10ポイント(程度)で作成・印字してご提出ください。

(3) 参考資料 参考資料(学術論文、学術講演録、報告書及び特許権等)には、必ず総合目次を付け、数が多い場合は、その中から精査の上、10件以内のものを添付してください。添付するものにはインデックスをつけて綴じ、総合目次に※印を付けるなど検索・閲覧を容易にできるようにしてください。

5. 提出部数 ①推薦書は、所定の様式に記入し、推薦者印を捺印、各々に付属説明書・参考資料を添付の上、6部提出してください。なお、提出書類等は返却いたしません。  
②関係の事業体(企業等)の案内パンフレットを1部提出してください。

6. 推薦締切日 令和3(2021)年8月20日(金)16時必着とします。

7. 審査 ①大河内賞審査委員会は、候補者に対して資料の追加請求、ヒアリングの実施あるいは当該業績に係る製品の生産現場等の実地調査を行う場合があります。  
なお、実地調査の受け入れが困難な場合は、その旨を備考欄にご記載ください。  
②審査中に業績題名及び候補者名等の変更を要請する場合があります。  
③審査期間中の審査の経過・内容等に関するお問合わせには一切応じることはできません。

8. 審査結果 審査の最終結果については、令和4(2022)年2月中旬までに、推薦書記載の応募業績連絡担当者を通じて、文書等により推薦者、代表研究者及び代表事業体に通知します。

9. 受賞の公表 受賞者の発表は、令和4(2022)年2月中旬頃に新聞等に受賞者等に関する資料を提供します。

10. 贈賞式 令和4(2022)年3月22日(火)、日本工業倶楽部会館(東京・丸の内)を予定しております。

11. その他 推薦書様式は、当会ホームページからダウンロードできます。その他のご案内等もホームページをご覧ください。  
ホームページアドレスは以下のとおりです。  
<http://www.okochi.or.jp>

12. 推薦書送付先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-10-1501  
公益財団法人大河内記念会  
TEL 03-3501-2856、FAX 03-3501-2727  
Email [kinkenai@okochi.or.jp](mailto:kinkenai@okochi.or.jp)